

高梁市の地域医療に関するアンケート

《アンケートへのご協力をお願い》

平素より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本調査は、医療に携わる皆さまに高梁市の医療について普段感じられていることやご意見を伺い、高梁市の地域医療の検討に反映していくことを目的に実施するものです。

ご多忙のこととは存じますが、取り組みの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

《ご回答にあたってのお願い》

- ① ご回答が難しい設問については、空欄のまま進めてください。
- ② 本アンケートは無記名方式です。アンケート用紙等に回答者のお名前やご住所をご記入いただく必要はございません。

投函期限：平成29年 9月25日（月）

※返信用封筒を同封しています。（切手不要）

本アンケートについてのお問い合わせ先

高梁市役所 健康福祉部 医療連携課

〒716-8501

岡山県高梁市松原通2043

電話：0866-21-0304

Fax：0866-23-0655

メール：iryorenkei@city.takahashi.lg.jp

貴機関の概要についてお聞きします。

問1 事業所名をご確認ください。

問2 標榜科をご確認ください。

問3 貴機関の経営環境について教えてください。(1つに○)

1. 現在順調であり、将来的にも不安は無い
2. 現在順調だが、将来的には不安である
3. 現在課題を抱えているものの、将来的には解決する見込みがある
4. 現在課題を抱えており、将来的にも解決の見込みがない

次ページ
問5へ

問4 問3で「2」「3」「4」のいずれかを選択した場合にお答えください。
課題・不安の具体的な内容を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 医療スタッフの不足 | 2. 医療スタッフの疲弊 |
| 3. 医療スタッフの高齢化 | 4. 患者数の減少 |
| 5. 患者単価の減少 | 6. 施設や設備の老朽化 |
| 7. その他 () | |

次ページ
問5へ

問5 岡山県は今後病床数を削減する方針を掲げていますが、
貴機関の病床削減の予定を教えてください。(1つに〇)

- 1. 病床削減に取り組む予定である
- 2. 病床削減したいが、困難である
- 3. 病床削減の予定はない

本ページ
問8へ

問6 問5で「1」を選択した場合にお答えください。
いつごろの病床削減を予定していますか。(1つに〇)

- 1. 早急に削減する予定である
- 2. 数年後を目途に削減する予定である
- 3. 削減の時期は決めていない

問7 問5で「1」を選択した場合にお答えください。
どれだけの病床数を削減する予定ですか。

- 1. 高度急性期：() 床
- 2. 急性期：() 床
- 3. 回復期 ：() 床
- 4. 慢性期：() 床

次ページ
問9へ

問8 問5で「2」「3」のいずれかを選択した場合にお答えください。
病床削減を妨げている要因を教えてください。

次ページ
問9へ

問9 平成28年度の入院・外来・在宅の患者数を教えてください。

※1 患者数は、年度内の実人数を記入してください。

※2 院内での転棟や他医療機関からの転院は、人数に計上してください。

例) 急性期病棟へ入院し、平成28年度中に回復期病棟へ転棟した場合。

→急性期1人、回復期1人

例) 平成28年度中に、倉敷市内の病院から回復期病棟へ転院があり、その後、院内の慢性期病棟へ転棟した場合。

→回復期1人、慢性期1人

※3 外来患者数において、救急外来は、救急車で搬送、時間外の外来患者数を記入してください。

一般外来は、救急外来以外の外来患者数を記入してください。

入院患者	高度急性期	_____人
	急性期	_____人
	回復期	_____人
	慢性期	_____人
外来患者	一般外来	_____人
	救急外来	_____人
在宅患者	訪問診療	_____人
	往診	_____人

問10 平成28年度に貴機関から転院した入院患者数を教えてください。

1. 高梁市内の他病院への転院：_____人
2. 岡山市の医療機関への転院：_____人
3. 倉敷市の医療機関への転院：_____人
4. その他の医療機関への転院：_____人

問11 平成28年度に他医療機関から受入れた入院患者数を教えてください。

1. 高梁市内の他病院からの転院：_____人
2. 岡山市の医療機関からの転院：_____人
3. 倉敷市の医療機関からの転院：_____人
4. その他の医療機関からの転院：_____人

問12 各事業所における、年齢区分ごとの現員数・退職者数・新規就業者数を教えてください。

(退職者数、新規就業者数は平成26年度～平成28年度の3年間の合計)

		現員数				過去3年間の退職者数				過去3年間の新規就業者数			
		常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
医師	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												
歯科医師	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												
薬剤師	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												

		現員数				過去3年間の 退職者数				過去3年間の 新規就業者数			
		常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
看護師	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代~												
准看護師	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代~												
理学療法士	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代~												
作業療法士	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代~												

		現員数				過去3年間の 退職者数				過去3年間の 新規就業者数			
		常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
言語 聴覚士	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												
管理 栄養士	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												
医療ソ シャルワ ーカー	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												
精神保健 福祉士	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												

		現員数				過去3年間の 退職者数				過去3年間の 新規就業者数			
		常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
ケアマネ ジャー	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												
介護職	20代												
	30代												
	40代												
	50代												
	60代												
	70代												
	80代～												

問13 平成26年度から平成28年度の3年間における
各職種の募集人数の延べ数を教えてください。

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師						
歯科医師						
薬剤師						
看護師						
准看護師						
理学療法士						
作業療法士						
言語聴覚士						
管理栄養士						
医療ソーシャルワーカー						
精神保健福祉士						
ケアマネジャー						
介護職						

問14 平成26年度から平成28年度の間、自治医科大学あるいは岡山大学地域枠の義務年限で勤務していた医師数と、そのうち継続して勤務している医師数を教えてください

1. 義務年限で勤務していた医師数	_____人
2. 継続して勤務している医師数	_____人

問15 問12でお答えいただいた職種（※）に関して、平成26年度から平成28年度の間研修・実習の受入れ実績がある場合にお答えください。受入れ人数と、研修・実習後に貴機関に就職した人数を教えてください。

※ 対象職種：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、ケアマネジャー、介護職

職種1（職種名：_____）	
1. 研修・実習の受入れ人数	_____人
2. そのうち貴機関に就職した人数	_____人

職種2（職種名：_____）	
1. 研修・実習の受入れ人数	_____人
2. そのうち貴機関に就職した人数	_____人

職種3（職種名：_____）	
1. 研修・実習の受入れ人数	_____人
2. そのうち貴機関に就職した人数	_____人

問16 どのようにして医師を確保していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 大学医局からの派遣 | 2. 他医療機関からの派遣 |
| 3. 自治医科大学からの派遣 | 4. 地方自治体からの派遣 |
| 5. 医学部の地域枠の活用 | 6. 求人 |
| 7. 人材紹介会社の活用 | 8. 個人的な人脈 |
| 9. その他 () | |

問17 どのようにして看護師を確保していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 他医療機関からの派遣 | 2. 地方自治体からの派遣 |
| 3. 求人 | 4. 個人的な人脈 |
| 5. 人材紹介会社の活用 | 6. その他 () |

問18 医師・看護師以外のスタッフについて、どのようにして確保していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 他医療機関からの派遣 | 2. 地方自治体からの派遣 |
| 3. 求人 | 4. 個人的な人脈 |
| 5. 人材紹介会社の活用 | 6. その他 () |

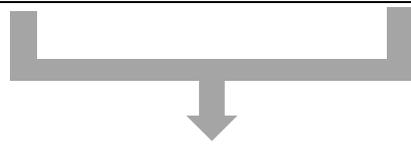
問19 応募を増やすために貴機関で取り組んでいることがあれば教えてください。

問20 平成26年度から平成28年度の間定年退職以外で退職したスタッフの、主な退職理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 出産・育児 | 2. 結婚 |
| 3. 本人の健康上の理由 | 4. 家族の健康上の理由 |
| 5. 労働環境 | 6. 人間関係 |
| 7. 給与・待遇 | 8. 責任の重さへの不安 |
| 9. 他分野への興味 | 10. 希望のキャリアを積みにくい |
| 11. 勤務地の都合 | 12. その他() |

問21 離職者の復帰について、貴機関の考えを教えてください。
(各職種とも、1つに○)

医師	1. 積極的に採用したい 2. どちらとも言えない 3. 採用は難しい
看護師・ 准看護師	1. 積極的に採用したい 2. どちらとも言えない 3. 採用は難しい
その他の 専門職(※)	1. 積極的に採用したい 2. どちらとも言えない 3. 採用は難しい



14ページ
問23へ



次ページ
問22へ

※ 対象職種：歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、ケアマネジャー、介護職

問22 問21で「3」を選択した職種についてお聞きします。

離職者の復帰が難しい理由を教えてください。

(あてはまるもの全てに○)

医師	1. これ以上スタッフを増やす必要がないので 2. スタッフを増やす余裕が無いので 3. 離職者にはブランクがあり、再教育にコストがかかるので 4. 離職前と同様の働き方が可能か判断しかねるので 5. その他 ()
看護師・ 准看護師	1. これ以上スタッフを増やす必要がないので 2. スタッフを増やす余裕が無いので 3. 離職者にはブランクがあり、再教育にコストがかかるので 4. 離職前と同様の働き方が可能か判断しかねるので 5. その他 ()
その他の 専門職	1. これ以上スタッフを増やす必要がないので 2. スタッフを増やす余裕が無いので 3. 離職者にはブランクがあり、再教育にコストがかかるので 4. 離職前と同様の働き方が可能か判断しかねるので 5. その他 ()



次ページ
問23へ

在宅医療への取り組みについてお聞きします。

問23 貴機関では訪問診療を実施していますか。(1つに〇)

1. 実施している
2. いまは実施していないが、今後条件が整えば実施したい
3. いま実施しておらず、今後の実施も予定していない

本ページ
問25へ

次ページ
問26へ

問24 問23で「1」を選択した場合にお答えください。
訪問診療を行っているスタッフ（同行者含む）の人数を
教えてください。

医師	()	名
看護師	()	名
准看護師	()	名
その他の職種	()	名

次ページ
問26へ

問25 問23で「3」を選択した場合にお答えください。
その理由を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

1. 需要が少ない
2. 人手が足りない
3. 採算が取れない
4. アクセスが悪く、地域を回りきれない
5. 必要性を感じない
6. その他 ()

次ページ
問26へ

問26 貴機関では往診を実施していますか。(1つに〇)

1. 実施している
2. いまは実施していないが、今後条件が整えば実施したい
3. いま実施しておらず、今後の実施も予定していない

本ページ
問28へ

次ページ
問29へ

問27 問26で「1」を選択した場合にお答えください。
往診を行っているスタッフ（同行者含む）の人数を
教えてください。

医師	()	名
看護師	()	名
准看護師	()	名
その他の職種	()	名

次ページ
問29へ

問28 問26で「3」を選択した場合にお答えください。
その理由を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

1. 需要が少ない
2. 人手が足りない
3. 採算が取れない
4. アクセスが悪く、地域を回りきれない
5. 必要性を感じない
6. その他 ()

次ページ
問29へ

多職種連携の取り組み状況についてお聞きします。

問29 貴機関の退院支援担当者数を教えてください。

_____人

問30 退院支援担当者は足りていると感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 十分に足りている | 2. どちらとも言えない |
| 3. 不足している | |

問31 平成28年度で、退院時カンファレンスを開催した患者の割合を教えてください。

_____%

問32 問12でお答えいただいた職種(※)に関して、各職種の退院時カンファレンスへの参加頻度を教えてください。

※対象職種：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、ケアマネジャー、介護職

毎回参加している職種	()
可能な限り参加している職種	()
必要に応じて参加している職種	()

問33 多職種連携研修会への参加をどの程度奨励していますか。(1つに○)

- | |
|----------------|
| 1. 参加を奨励している |
| 2. 個々の判断に任せている |

高梁市内の地域医療の現状についてお聞きします。

問34 高梁市も地域医療の維持に危機感を持ち、医療計画を策定しようとしています。このことについて貴機関のお考えを教えてください。
(1つに〇)

1. 遅すぎるくらいであり、急いで取り組むべきだと思う
2. いま取り組むべき課題だと思う
3. 他にも課題はあるが、医療についても取り組むべきだと思う
4. わからない
5. 他に優先して取り組むべきことがある
(具体例：)

問35 高梁市内の医療に関連するテーマのうち、特に重要だと思うものを教えてください。(1つに〇)

1. 市内の医療機関が連携し、市内のどこに住んでいても日常の医療を適切に受けられること
2. 医師や看護師などを確保し、地域の医療を維持・持続すること
3. 産科や小児科などの子育てに欠かせない医療を整え、幅広い世代にまちの魅力を高めること
4. 介護や福祉と連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えること
5. その他 ()

問36 高梁市内の初期救急医療体制は充実していると思いますか。

(1つに〇)

1. 非常に充実していると思う
2. ある程度充実していると思う
3. あまり充実していないと思う
4. 全く充実していないと思う

次ページ
問38へ

問37 問36で「3」「4」のいずれかを選択した場合にお答えください。
その理由を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

1. 医療従事者が足りない
2. 医療機関同士の連携が不足している
3. 患者が総合病院を志向しており、在宅当番医制が機能していない
4. アクセスが悪く、来院に時間がかかる
5. コンビニ受診や電話相談対応に追われ、本来必要な患者への対応が十分でない
6. その他 ()

次ページ
問38へ

問38 高梁市内の二次救急医療体制は充実していると思いますか。

(1つに〇)

1. 非常に充実していると思う
2. ある程度充実していると思う
3. あまり充実していないと思う
4. 全く充実していないと思う

次ページ
問40へ

問39 問38で「3」「4」のいずれかを選択した場合にお答えください。
その理由を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

1. 医療従事者が足りない
2. 救急車が足りない
3. 救急対応可能な診療科が少ない
4. 医療機関同士の連携が不足している
5. 病院群輪番制に参加している医療機関が少なく、医療機関の負担が大きい
6. アクセスが悪く、搬送に時間がかかる
7. その他 ()

次ページ
問40へ

問40 高梁市からの他市町村への患者の流出について、
貴機関の認識を教えてください。(1つに〇)

1. 非常に多いと思う
2. ある程度多いと思う
3. あまり多くはないと思う
4. ほとんどいないと思う

次ページ
問44へ

問41 問40で「1」「2」のいずれかを選択した場合にお答えください。
どのような患者が流出していると思いますか。

問42 問40で「1」「2」のいずれかを選択した場合にお答えください。
患者が流出していることに対して、貴機関ではどのようにお考え
ですか。(1つに〇)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 問題ではない | 2. 好ましくはないが、仕方がない |
| 3. 早急に対応すべきである | |

問43 問42の理由を教えてください。

次ページ
問44へ

問44 流出患者の他市町村医療機関からの再受入れについて、
貴機関の受入れ状況を教えてください。(1つに○)

1. 患者や医療機関等の相談経路に関わらず、相談があれば受け入れている
2. 医療機関からの相談があれば受け入れている
3. 相談はあるものの、人員や設備の都合からあまり受け入っていない
4. 相談を受けることがあまりない
5. その他 ()

問45 高梁市内の現在の医療提供体制について、課題だと感じていることがあれば教えてください。

問46 高梁市内の医療提供体制整備に向けて、市に期待することがあれば教えてください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。